

学生参加型・地域共創型
環境価値創出・オフセット実装モデル



龍谷大学 副学長 深尾 昌峰

学生・教職員が協働して取り組んできたサステナビリティ



すべての使用電力が100%再生可能エネルギーに
(2023～)



学生が大学の気候ガバナンスへの参画を目指す
「龍谷大学学生気候会議」を開催(2021～)



行動促進イベント「龍谷大学サステナビリティDays」を開催
(2024～)



「グリーン人材」の育成をめざす「協力協定」を環境省と
締結(2022～)

サステナビリティを
「実践する大学」



瀬田キャンパス「龍谷の森」が環境省の「自然共生サイ
ト」に認定(2024～)

「大学としての取り組み」は一定進んできた

しかし

- ・教育機関としてどう深化させていくべきか
- ・これまでの「取り組み」がどう「インパクト」を作り出したか
- ・ともに取り組みを進めていく「仲間」を地域の中でもっと創り出すには
- ・そもそも「行動変容」につながっているのか
- ・目指すビジョン（龍谷大学基本構想400）とより実質的な接続

構成員で「できること」はもっとあるのではないか

日本GXグループ株式会社との連携で、GX人材育成を加速化



JGX
Japan GX group

外部クレジット購入型から、行動変容創出型オフセットへ

オフセットを「購入」から「**学生の行動変容を起点に価値を生む仕組み**」へ広げる

従来型

- ・ 外部で創出されたクレジットを購入
- ・ 排出量の相殺が中心
- ・ 参加者・地域との関係が見えにくい
- ・ 一方向の資金移動になりやすい

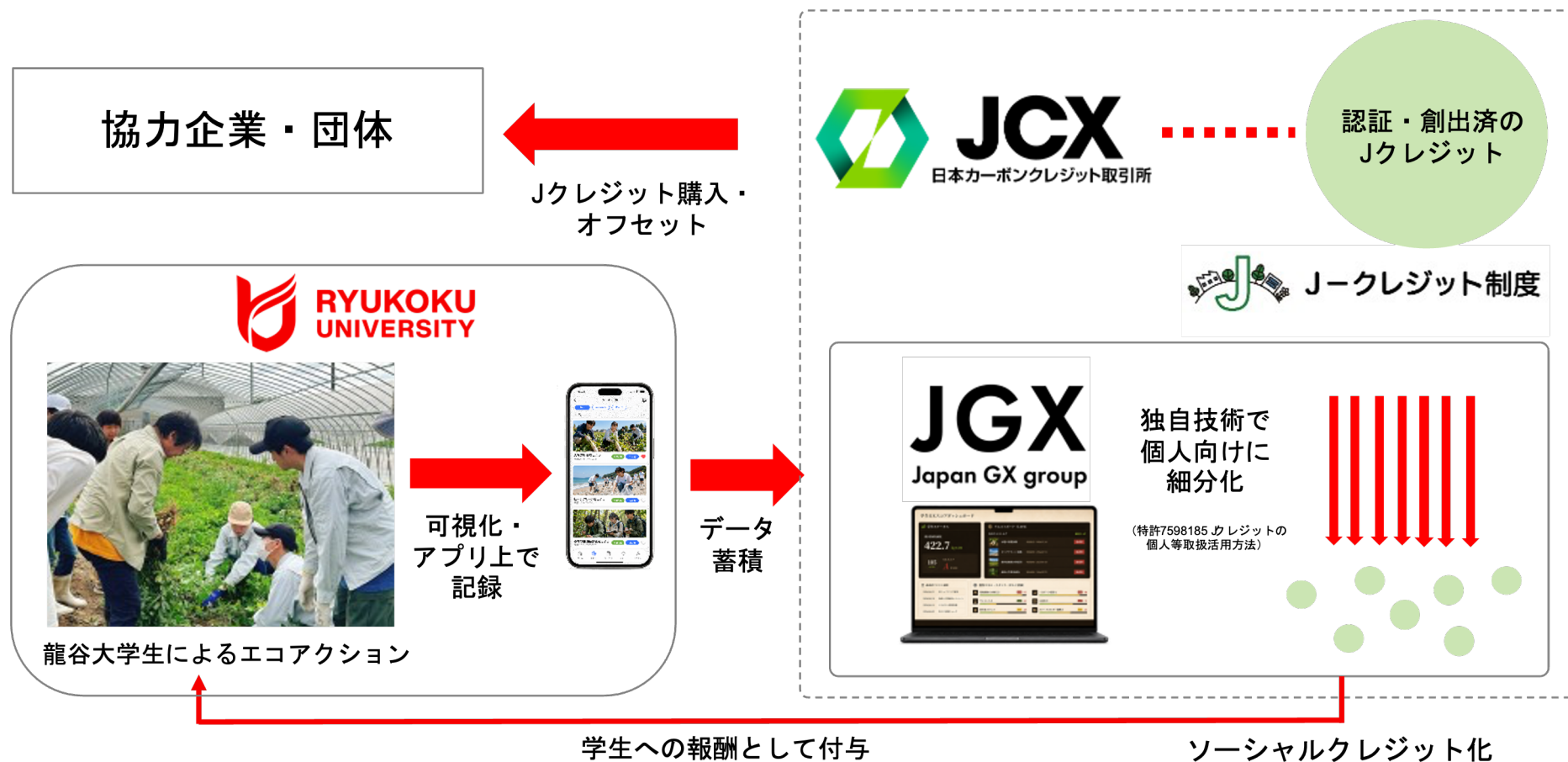
転換

本事業

- ・ 学生のエコアクションを起点に価値化
- ・ 学び・報酬・地域貢献も同時に実現
- ・ 行動が可視化され、共感が生まれる
- ・ 企業・地域・大学の協働が循環する

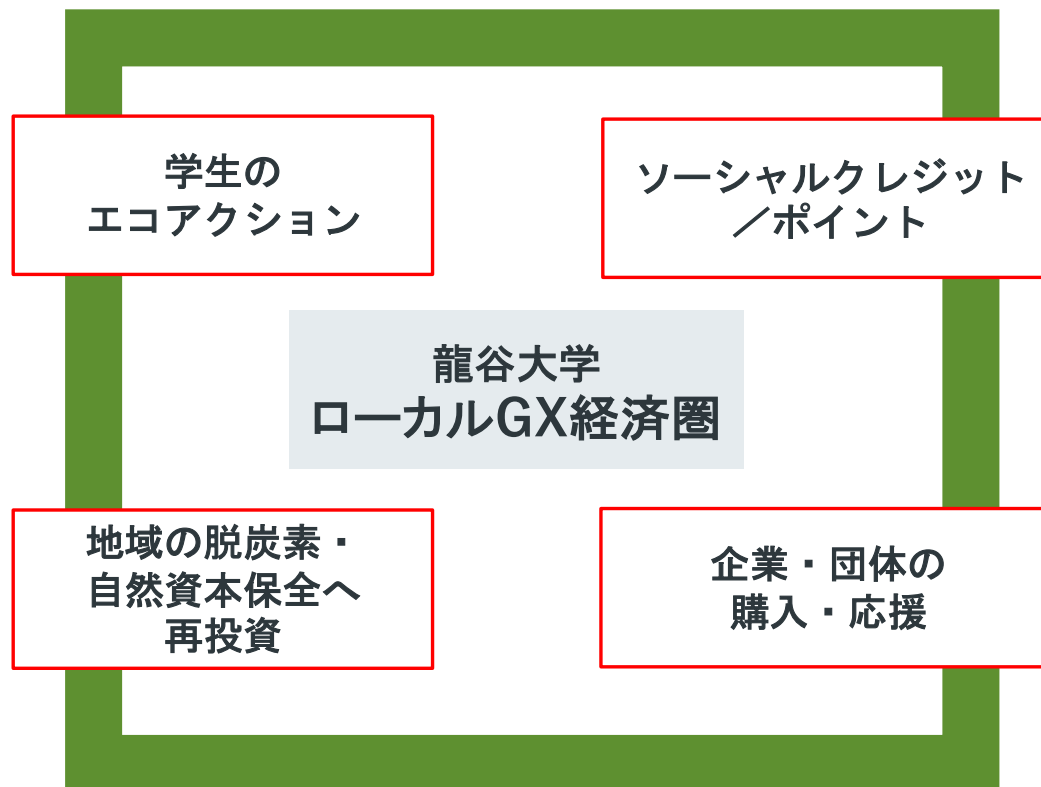
クレジットを買うモデルから、学生と地域が環境価値を共創するモデルへ

JGXとの連携による、学生参加・地域共創型のカーボンオフセット実証モデル



約2万人の学生が参加する、大学内GX経済圏の実証

大学という学習・生活圏をフィールドに、行動・データ・ポイント・企業参加・地域再投資を循環



行動が記録・価値化され、企業や地域の参加によって再び行動へ

龍谷大学におけるサステナビリティ推進と将来ビジョン



※新学部に関する設置計画は予定であり、内容に変更が生じる場合がございます。

